議案第80号

令和元年度 宝塚市一般会計補正予算(第2号)について

資料 6 二酸化炭素排出抑制対策事業の内容等

1 目的

西谷地区では、約600頭の牛が飼育されており、糞尿処理の労力や臭気の課題に対する解決策の一つとして、畜産糞尿を地域の資源として活用するバイオガス発電設備の導入の可能性が、地域の脱炭素化を推進する事業として考えられる。バイオマス資源賦存量を把握し、生産される電気や熱の量を算出のうえ、液肥の活用・流用、事業スキームの検討、採算性の試算などを行い、事業化実現の可能性を探ることを目的とする。

2 主な実施内容

バイオガスプラント設備の導入に向けて、次の整理、調査、検証・検討を行う。

- (1) バイオマス資源賦存量の把握
- (2) メタン発酵システム・バイオガス生産量・発電量の試算
- (3) 生産エネルギーの利用方法の検討
- (4) メタン発酵消化液(有機農業)の利用方法の検討
- (5) 有機農産物の流通に関する検討
- (6) 地域循環共生圏モデルの作成
- (7) 事業運営方式の検討
- (8) 事業コストの試算
- (9) 事業スケジュールの作成
- (10) 関係者検討会議の開催

3 事業費

·二酸化炭素排出抑制対策業務委託料 9.867 千円

・会場借上料 4 千円

十 9.871 千円

財源) 環境省補助金(地域の循環資源を活用した地域の脱炭素化を推進する事業の 実現可能性調査を行う事業) 9.871 千円/補助率 10/10、8/16 採択

4 スケジュール

10月 事業者選定(プロポーザル方式)

11~1月 事業実施

- 基礎調査(11月)
- ·詳細検討(11月~1月)
- ・検討会議の開催(12月下旬~1月下旬)